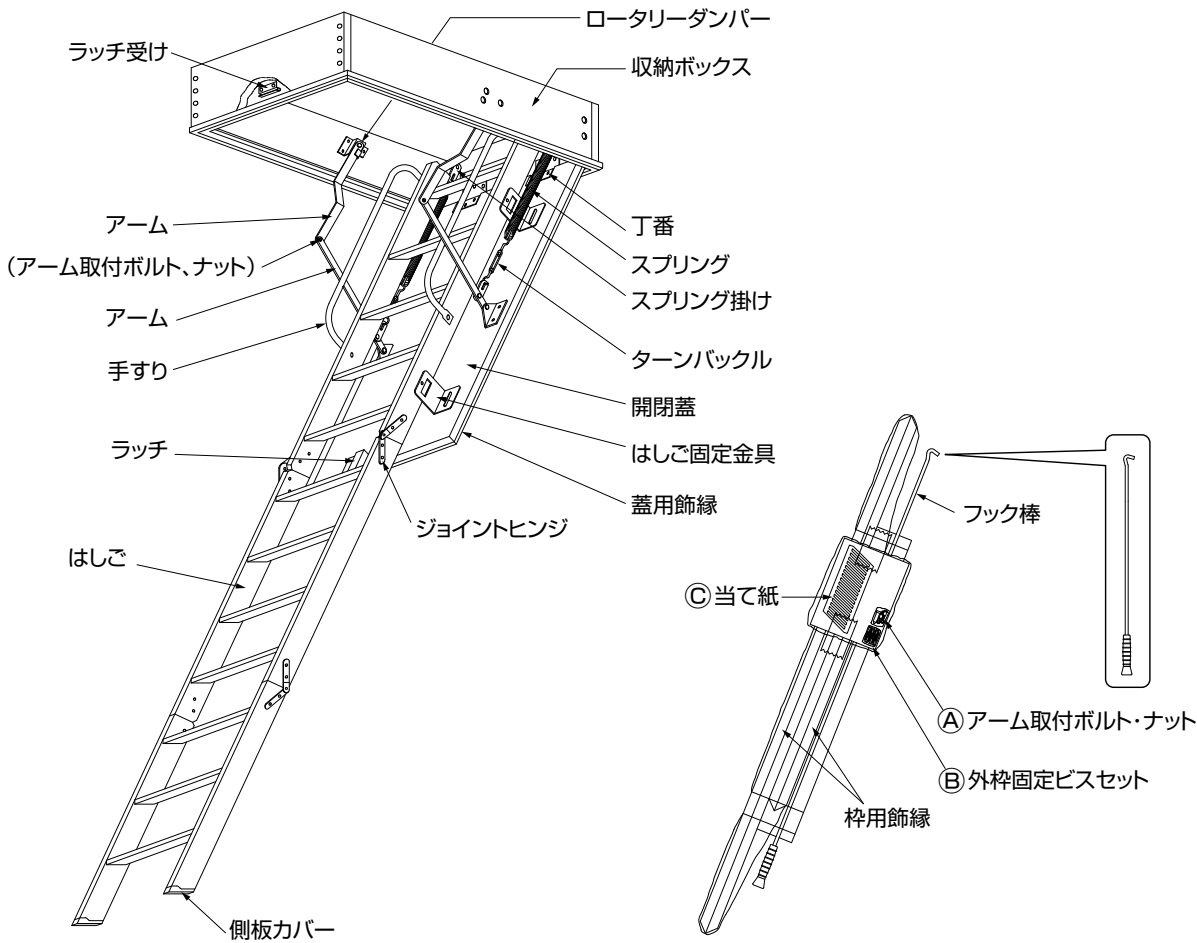


屋根裏収納用はしご

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、
お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

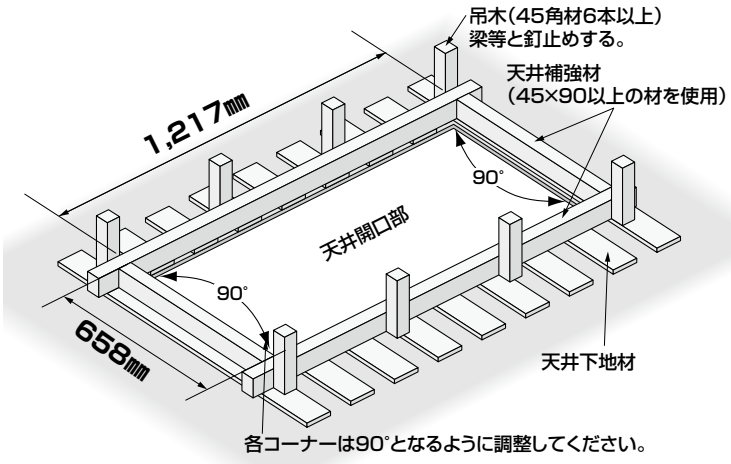
姿 図



施工手順 (収納ボックス)

1 開口部を設け、補強材の取付

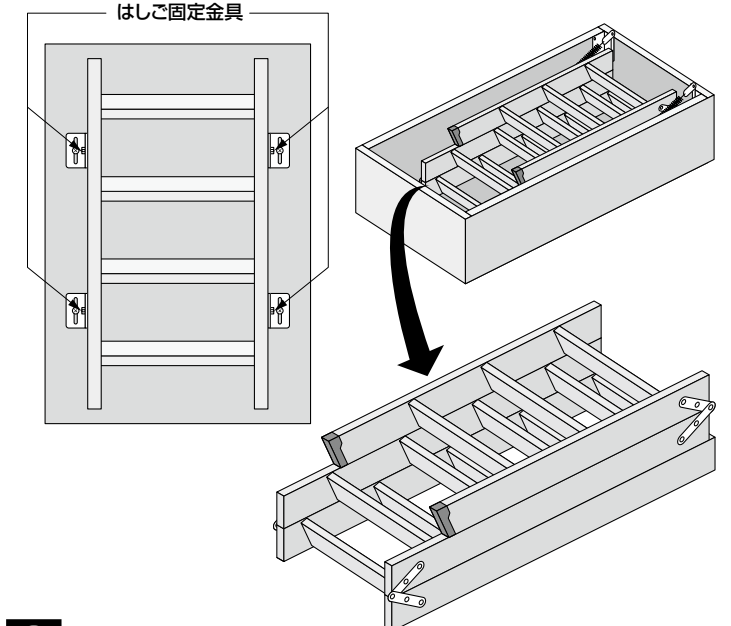
- 天井開口部に補強材を取り付ける。
天井開口寸法: 658mm×1,217mm
- 吊木は梁などに釘止し、天井強度を確保する。



お願い 天井にたわみ、歪みなどが生じると、うまく作動しません。
設置場所の全体的な強度を確かめてください。

2 はしご本体を収納ボックス本体から取り外す

- はしご固定金具の側板側のボルト・ナットを4箇所外して、はしご本体を収納ボックス本体から取り外し、はしご本体を一時他の場所で保管してください。取り外したボルト・ナットは無くさないように保管してください。

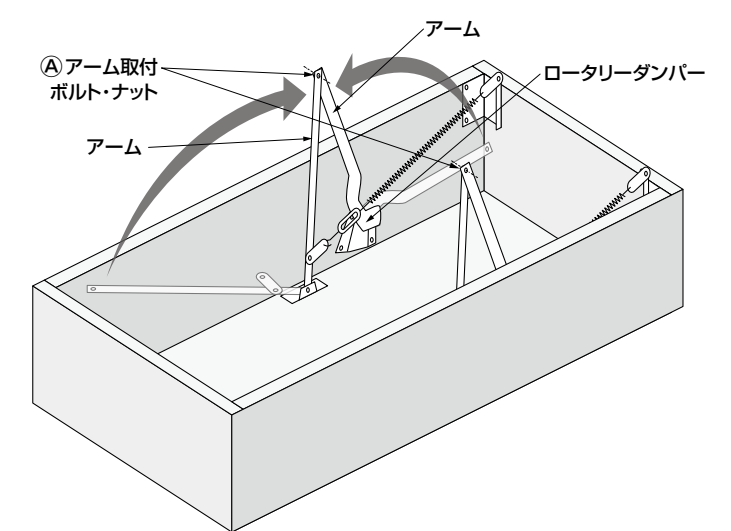


3 ダンパーと蓋の連結

- 開梱時は収納ボックス部のロータリーダンパーと開閉蓋を連結しているアームが取り外されています。(左右1箇所ずつ)
開梱後は同梱の④アーム取付ボルト・ナットでアームを連結してください。

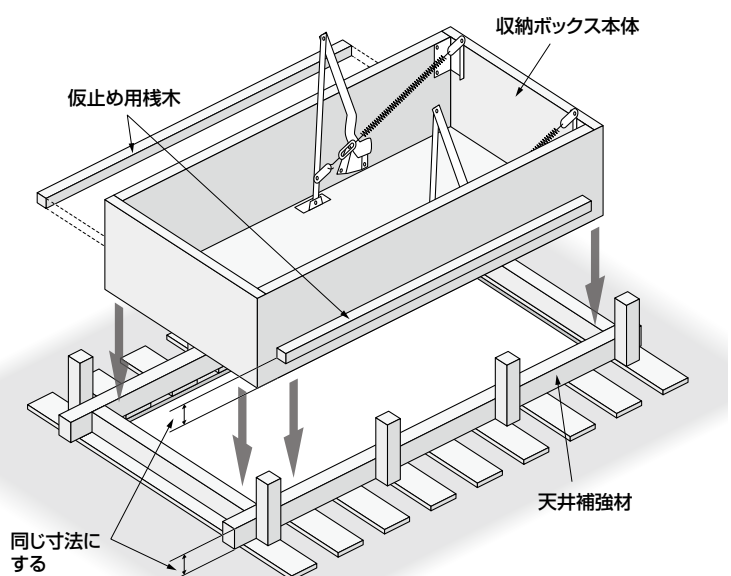
注意 アーム取付ボルトを締める際は、インパクトドライバーなどで締めすぎるとボルトがねじ切れてしまう事がありますのでご注意ください。

注意 アームの連結を行わずに蓋の開閉やはしごを使用すると、はしごの落下や、昇降者の転落など、事故の原因になるおそれがあります。



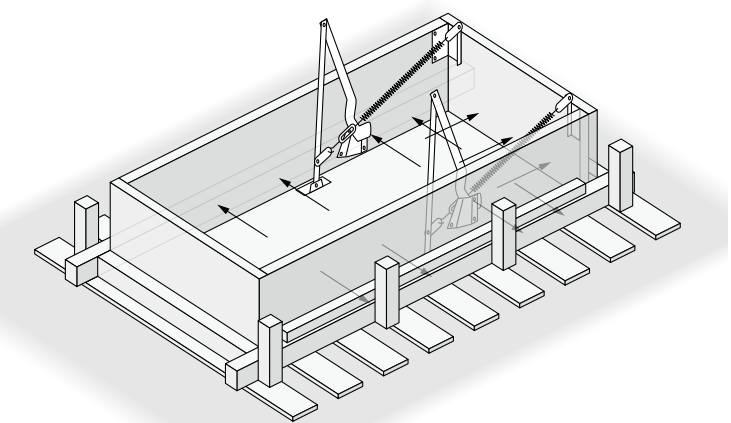
4 収納ボックスの仮止め

- ※この時、開閉蓋を開めた状態で作業してください。
- 仮止め用桟木の取り付け
天井下地材から天井補強材上端までの寸法を測り、収納ボックス本体の下端から同じ寸法の位置に仮止め用桟木を打ち付ける。
- 収納ボックスの設置
収納ボックス本体を天井開口部に落とし込み、仮止め用桟木が天井補強材に架かるようにそっと置く。



5 収納ボックス本体の本固定

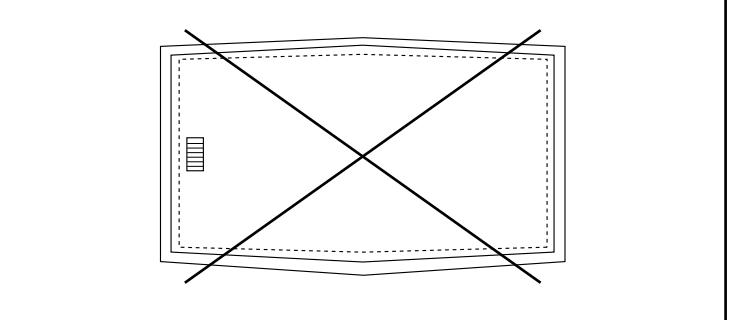
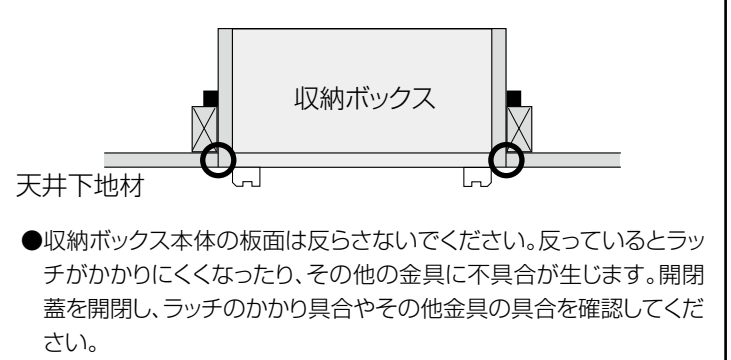
- 開梱具合確認後、収納ボックス本体内部から同梱の⑥外枠固定ビスセット(φ5.1×63mm)で長手方向4本以上、短手方向3本以上で収納ボックス本体を天井補強材と本固定してください。



注意 収納ボックス本体の本固定時には、閉まっている天井ふたには乗らないでください。落下しケガをするおそれがあります。

お願い ラッチが確実に作動しているかどうか確認してください。天井ふたがスムーズに開閉するか確認してください。

- 天井下地材と収納ボックスが面一になるように取り付けてください(○部)。



安全上のご注意

警告!

注意!

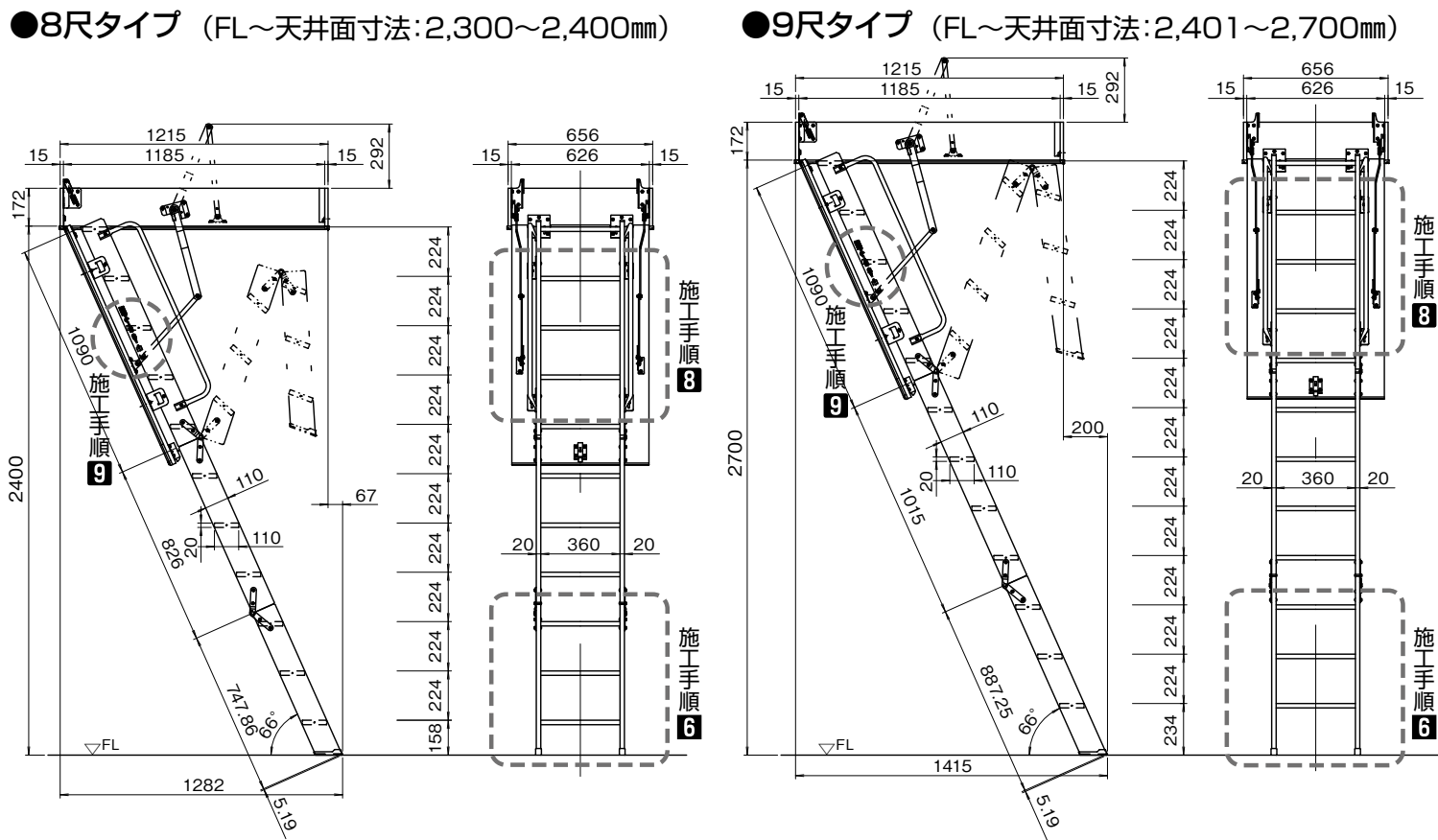
安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください
施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実に守ってください。

- 躯体の強度を確保してください。階段が取り付け位置には、十分な強度のある柱・間柱・胴縁や梁・大引などの下地があることを確認してください。
- 施工前に設置場所と周辺、及び天井裏に電気配線などの障害物がないことを確認してください。
- 床面にはしご下部(ゴムキャップ)がしっかり設置するように取り付けてください。
- 施工作業は必ず2人以上で行ってください。1人で作業を行うと不安定な作業になり、落下などの原因となります。2人以上で施工作業を行う時は合図、確認を行い、不意に開閉をしないでください。
- 設置を行う天井の、全体的な強度を十分に確かめてから施工を行ってください。(施主様とご相談の上、収納内容に合わせるようにしてください。)

- 天井裏は建築基準法の規制があり、屋根裏収納用はしごを使用した場合は、居室としては使えません。
- 商品の解体・改造・仕様変更は絶対にしないでください。本体破損の原因となり危険です。
- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。

- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- 開梱後は換気を行ってください。本製品は、ホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品ですが、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすいため、換気を行うようにしてください。
- 屋根裏収納用はしごの最大許容荷重は120kgです。**
施工の際、天井にたわみ、歪みなどが生じないよう補強材を確実に施工してください。

寸法図

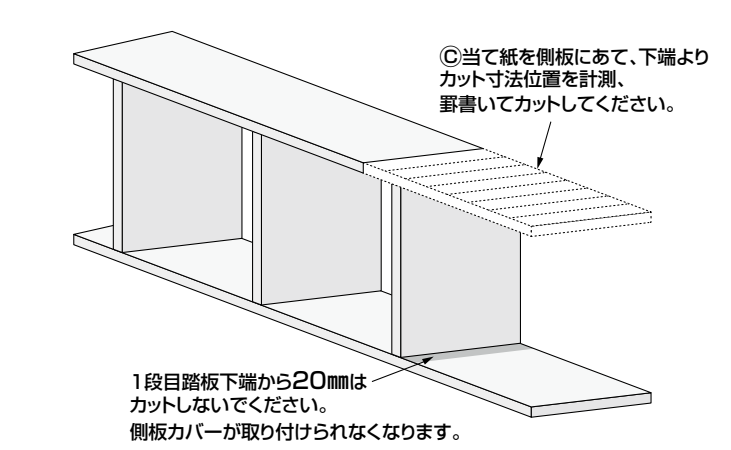


はしごの高さ調整は、はしご本体の側板をカットして行います。(施工手順⑧を参照)
高さ調整の為、はしご下部をカットします。その場合、蹴上げ寸法が極端に低くなり、階段の昇り降りの際に踏み外す恐れがあります。カットする場合は、施主様と十分な確認作業をお願いします。

施工手順 (はしご本体)

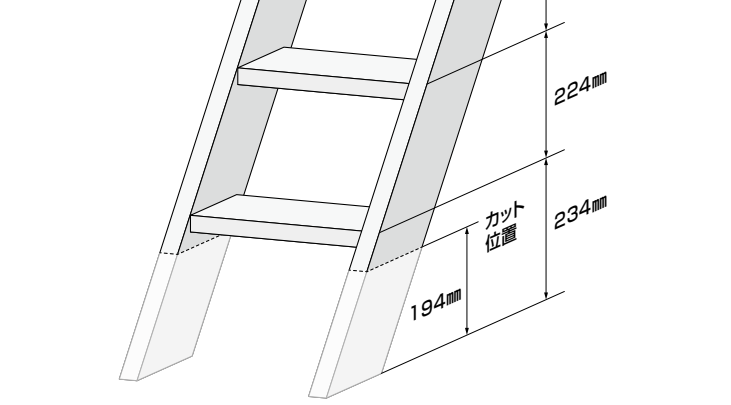
6 はしご本体の長さ(階高)を決める

- FLから天井面までの寸法(H寸法)を計測し、カット寸法を計算します。(2,700mmもしくは2,400mmからH寸法を引いた寸法がカット寸法です。)
- はしご下段を取り外し、側板カバーを外してから付属の⑦当て紙でカット位置を野書きします。(10mmピッチで野書きします。)
- はしご側板に当て紙をあて、野書き線を引きカットします。(最終的な高さの微調整は、はしご本体の取り付け部にて上下25mm程度調整できます。施工手順⑧を参照)
- カット後、再度側板カバーを本体へ取り付ければ完了です。

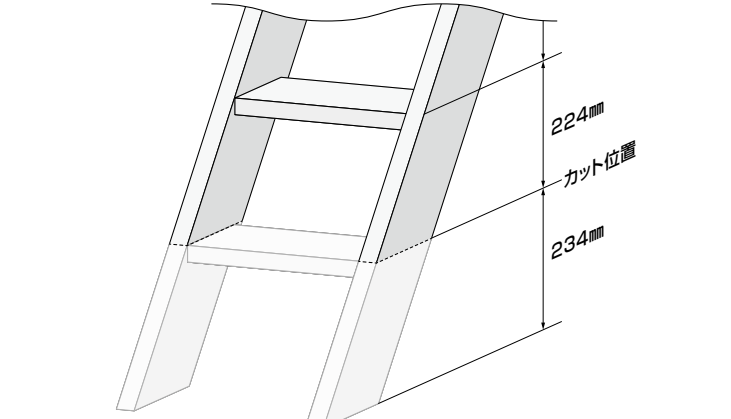


注意 9Rタイプにおいて
天井高が2,466mm~2,506mm
の場合は以下の位置でカットしていただくようお願いいたします。

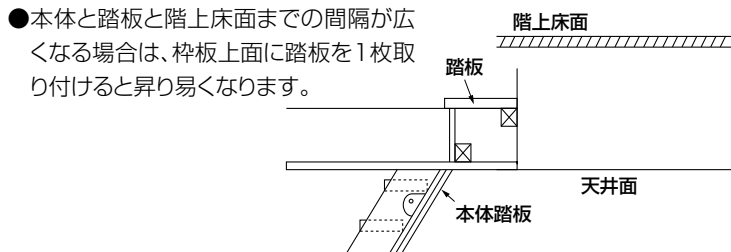
- 天井高が2,486mm~2,506mmの場合
カット寸法は全て194mmでカットします。
(1段目踏板下面から20mmの位置になります。)
はしご本体取り付け位置にて高さを調整してください(施工手順⑧)。
(踏板下面から20mmは側板カバーを取り付けるための必要寸法になります。)



- 天井高が2,466mm~2,486mmの場合
カット寸法は全て234mmでカットします。
(1段目踏板上面の位置になります。)
はしご本体取り付け位置にて高さを調整してください(施工手順⑧)。

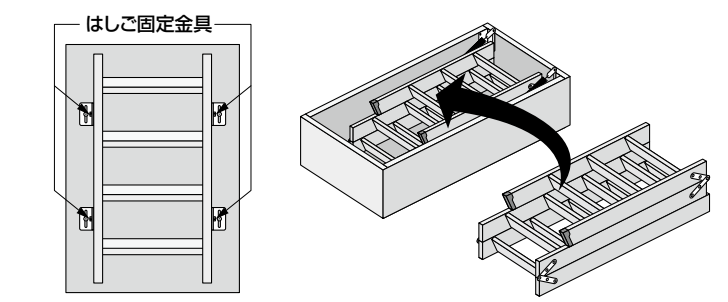


注意 踏板の強度は十分に確保してください。(ケガの原因となります。)



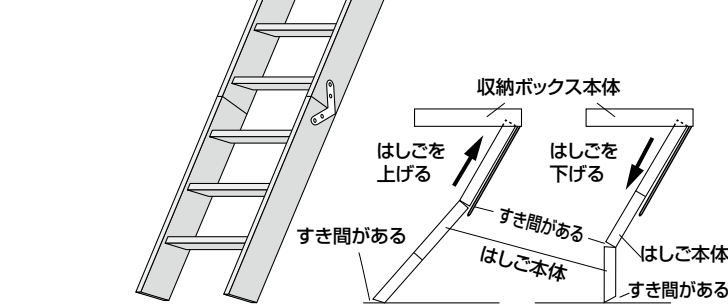
7 収納ボックス本体にはしご本体を取り付ける

- 他の場所で保管していた、はしご本体を収納ボックス本体にセットします。はしご固定金具とはしごの側板をボルト・ナットで4箇所、収納ボックス本体にはしご本体を取り付けます。(②の逆手順となります。)



8 はしごの高さ調整

- はしご本体をまっすぐに伸ばして、その長さに過不足がないか確認します。
- もし過不足があれば、はしご固定金具ボルト(4箇所)をゆるめ、はしご本体を上下に動かして微調整します。
- はしご本体は上下それぞれ約25mmの範囲で調節できます。



注意 ゆるめたボルトは、調整後しっかり締め直してください。危険ですので、はしご本体は必ずすきまのない様に調整してください。

9 天井ふたの開閉の強さ調整手順

- ターンバックルでスプリングの強さを調節します。閉めると強くなり、緩めると弱くなります。

お願い ターンバックルは左右にあります。同じように調節します。



最後に総チェックを行ってください。

- ボルト、ビス等の締め忘れがないか確認してください。
- 各部の破損がないか確認してください。
- ボルト、ビス等の増締めを行ってください。
- はしご本体が確実に床面に着いているか確認してください。
- はしご本体にすき間がないか確認してください。

